

『銃・病原菌・鉄』

- 農耕の開始と技術発展
  - 約1万3000年前 ― 狩猟採集⇒農耕へ移行
  - 
    農耕
    - 定住が可能 ― 人口扶養力アップ
    - 家畜の飼育 ― 運搬や耕作でも大きな役割
    - 余剰食料の出現 ― 農業以外の分野で発達
  - ユーラシア大陸
    - 家畜由来の感染症 ― 免疫獲得
    - 食料生産への移行が他より早かった
    - 軍事技術など他の大陸に対する優位性
- ユーラシア大陸の地理的優位性
  - 中でもとくにメソポタミア地域が先行
  - 種子
    - 栽培に適した野生の植物種が多い
    - 家畜化に適した動物種が多い
  - 
    気候や地形
    - ○ユーラシア大陸 ― 東西に広い
    - ✕アメリカ・アフリカ大陸 ― 南北に長い
    - ⇒ 技術や文明の伝播に差が生じる
- 欧州の政治分散とイノベーション
  - 中国と欧州 ― 高度な文明だが、15世紀以降は差が生じた
  - 
    中国
    - 皇帝の意向で航海や新技術の導入がSTOP
    - ⇒ 統一されやすい地形で、皇帝次第で国が大きく影響
  - 
    欧州諸国
    - 大航海時代を迎え、新発見と発明を重ねる
    - ⇒ 複雑な地形で、多様な価値観が混在
    - ⇒ 政治的分散性が高く、文明が発達しやすかった